

令和 7 年 4 月 定例教育委員会

日 時 令和 7 年 4 月 2 4 日（木） 9 時 3 0 分～

場 所 市役所 1 1 階 会議室 1

出席者

（教育委員）

陣内教育長、松野教育長職務代理者 古賀委員 中村委員 西沢委員

（事務局）

井上教育総務部長 鳩山学校教育部長 木下学校教育部次長兼学校教育課長 稲葉学校教育部次長 溝口総務課長 田村社会教育課長 武尾文化財課長 徳永総務課長補佐兼庶務係長 船本社会教育課長補佐兼指導係長 小嶋文化財課長補佐 柳田文化財課主査

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

（1）教育長報告

（2）令和 7 年 2 月分 議事録確認

（3）議 題

① 佐世保市社会教育委員選任の件（社会教育課）

（4）協議事項

① 福井洞窟特別史跡指定記念「ゆるキャラデザイン」受賞作品の選考について
（文化財課）

（5）報告事項

- ① S a s e b o E x p o 2 0 2 5 について（社会教育課）
- ② 令和 7 年度学校訪問実施計画等について（学校教育課）
- ③ 令和 7 年度いのちかがやく講演会について（学校教育課）

（6）その他

① 次回開催予定について

◆教育長報告

- 4 月 1 日～ 児童生徒数について
- 4 月 1 4 日 文教厚生委員会協議会
- 4 月 2 1 日 夜間学級開級式・入学式

(1) 教育長報告・議事録確認

【陣内教育長】

前回の定例教育委員会は3月27日に行われました。本日までの流れについてお伝えいたします。4月1日をもって令和7年度の学校の状況が確定し、新年度が始まりました。

令和6年度と令和7年度を比較すると、小学校では児童数が1年間で約450名減少しました。また、中学校ではこの1年間で生徒数が93名減少し、合計で約550名の減少となっています。

特に、小学校の減少率が中学校より高いため、小学生が中学校に進学するにつれて、さらに減少率が上昇するのではないかと考えています。現在、合わせて約2万人の児童生徒が小中学校に在籍していますが、今後さらに減少が進むのではないかと改めて感じた年度初めでした。

また、4月14日には文教厚生委員会で協議会を開催し、生徒指導の事案についての報告や、生徒指導事案へのよりの確で適切な対応のための指導方針について、皆様にご承認いただいた内容などを報告いたしました。

そして、4月21日には祇園中学校で夜間学級の開級式・入学式を挙行了しました。お忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございました。

この度、県内初の夜間学級ということで、報道でも大きく取り上げられており、この取り組みが様々な形でプラスの効果をもたらしていくことを期待するとともに、これを拡充していかなければならないと考えています。

全く新しい形であり、子どもたちを固定された枠内に押し込むのは逆行だと思っています。子どもたち、学校、教育委員会が一緒になって枠を作り上げ、共に育ち、育てる学級にしていきたいと考えています。

報告としましては、以上でございます。

それでは議事録の確認ですが、2月分の議事録の確認はよろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。それでは議題に入っていきたいと思います。「佐世保市社会教育委員選任の件」についてお願いします。

（２）佐世保市社会教育委員選任の件

【田村社会教育課長】

議題資料 P 1 ～ P 2 により説明

【陣内教育長】

学校教育関係の社会教育委員の中で 2 名辞任がありまして、新たに校長会の方から 2 名推薦をいただきました。

この方々を選任してよいでしょうかということですが、お尋ね等ございますか。

【全教育委員】

異議ありません。

【陣内教育長】

それでは了といたします。

協議事項「福井洞窟特別史跡指定記念『ゆるキャラデザイン』受賞作品の選考について」に進みたいと思います。

（３）福井洞窟特別史跡指定記念「ゆるキャラデザイン」受賞作品の選考について

【武尾文化財課長】

協議資料 P 1 ～ P 4 により説明および応募作品の紹介

【中村委員】

5 部門ありますが、この中から 1 点だけ選べるのですか、それとも各部門から 1 点選んだものがそれぞれ何かに使われるのでしょうか。

【武尾文化財課長】

はい、各部門でそれぞれ１点ずつ使用していきたいと思います。

具体的には、現在福井洞窟ミュージアムではスタンプラリーのイベントを行っており、その時にキャラクターのシールを貼っています。決定したものはその新たなキャラクターとすることを考えておりますので、それぞれ１点ずつ選び、合計５点作りたと思います。

【小嶋文化財課長補佐】

ミュージアムで夏休み等にイベントを行っているのですが、シールを大小準備し、ミュージアムの各ポイントに設置して貼っていくような形です。

ちなみに現在使用しているキャラクターは、吉井北小学校６年生が令和３年度に作ったものです。それぞれ考えていただいたキャラクターを、こちらである程度デザインの統一化をし、展開しているという状況です。

【古賀委員】

この賞の名称は「泉福寺洞窟賞」など、福井洞窟ではないものがありますが、応募者の皆さんはどんな賞があるかご存じなのでしょうか。

【武尾文化財課長】

賞の名称は告知しておりません。

【陣内教育長】

なぜ未就学児部門が「泉福寺洞窟賞」で小学校低学年の部が「福井洞窟賞」なのでしょうか。名称はどのように決定しているのでしょうか。

【柳田文化財課主査】

単純に、市内の洞窟の名称を賞として付けております。

【松野教育長職務代理者】

福井洞窟のキャラクターで応募したのに、例えば「泉福寺洞窟賞」をもらったら誤解を生みませんか。

【武尾文化財課長】

賞の名前は募集の際には公表しておりませんので、再検討いたします。

【中村委員】

同じくですが、「市長賞」というのも、それが一番というように誤解されると思います。

【西沢委員】

各部門の「大賞」などとした方がいいと思います。

【教育長】

そうですね。

【陣内教育長・全教育委員】

応募作品への投票作業

【武尾文化財課長】

各部門における受賞決定作品の紹介

【武尾文化財課長】

ありがとうございます。

5月31日に福井洞窟特別史跡指定記念式典を予定しており、そちらで表彰式を行いたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

【陣内教育長】

ありがとうございました。それでは、質問などなければ、了としてよろしいでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

それでは報告事項の方に移りたいと思います。

1つ目が「S a s e b o E x p o 2 0 2 5について」、社会教育課長お願いします。

(4) S a s e b o E x p o 2 0 2 5について

【田村社会教育課長】

報告資料P 1により説明

【陣内教育長】

ありがとうございました。何かお尋ねはありますか。

【西沢委員】

案内は各小学校、中学校、幼稚園には配っていらっしゃるのでしょうか。

【田村社会教育課長】

市内の幼稚園、保育所、認定こども園、小中学校に関しては、チラシを配布させていただいております。また、各地区のコミュニティセンターにはチラシを設置し、プレスリリースにより長崎新聞と西日本新聞において、5月1日ごろに掲載される予定です。

さらに、英語シャワー事業である「佐世保Eチャンネル」というホームページでも掲載しています。それと、五番街にもチラシを置かせていただくようお願いしているところです。

【西沢委員】

もう1点、当日急遽の参加はできるのでしょうか。前日までに申し込みをした方だけでしょうか。

【田村社会教育課長】

案内には参加申し込みをいただくよう記載しておりますが、当日の参加も可能です。昨年も多くの方が当日参加されましたので、今年も当日参加を受け入れられるようにしています。

【西沢委員】

ありがとうございます。

【陣内教育長】

あとはよろしかったでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ゴールデンウィーク期間中ですが、よろしくお願いします。ありがとうございました。
それでは報告事項の２つ目、「令和７年度学校訪問実施計画等について」をお願いします。

（５）令和７年度学校訪問実施計画等について

【木下学校教育課長】

議題資料Ｐ２～Ｐ３により説明

【陣内教育長】

３ページにあるＳＡ訪問に関しては皆さん来てくださいということで、Ａ訪問とＢ訪問についてはご希望のところでお願いします、ということでしょうか。

【木下学校教育課長】

はい。

【陣内教育長】

７月１日の港小学校と７月１０日の三川内小学校はよろしくお願いします。
あとはご希望でご参加いただいてよろしいでしょうか。

【古賀委員】

島の学校への訪問というお話があったかと思うのですが、今年度その予定があったら教えていただけないでしょうか。

【木下学校教育課長】

Ａ・Ｂ・Ｃ訪問はローテーションを組んでおり、今年度はＢ訪問が宇久小学校となっています。

また、来年度が黒島小中学校、再来年度がまた宇久小学校というような計画をしております。

【古賀委員】

そちらにＳＡやＡ訪問という予定はありますか。

【木下学校教育課長】

今申し上げたものがA訪問を予定しています。

来年度のA訪問が黒島小中学校、再来年が宇久小学校です。

【陣内教育長】

A訪問は必須ではないため、別の機会に来年、ぜひ宇久を訪れていただきたいと思います。理由としましては、来年から宇久高校で探究を中心とした新しい教育課程が始まる予定だからです。また、離島留学もごさいます。

現時点ではまだ準備段階ですので、来年の訪問を検討していただければと思っています。

そのためにも、教育委員会協議会などを通じて訪問の機会を設けたいと考えています。いかがでしょうか。

【全教育委員】

はい。

【陣内教育長】

ありがとうございます。

それでは最後の報告事項です。「令和7年度いのちかがやく講演会について」、お願いします。

（６）令和7年度いのちかがやく講演会について

【木下学校教育課長】

報告資料P4により説明

【陣内教育長】

とてもいい講演会です。チラシに記載のとおり、「笑って、泣いて、元気になれる」内容となっておりますので、お勧めいたします。

今回の講演はすごくお勧めしたかったので、訪問型も依頼しました。お話の内容が、保護者さんなど市民の皆さん向けの話もしていただけますし、子ども向けの話もしていただけます。

子どもたちが喜ぶような話もしていただきますので、両方の側面から訪問型で進めたいと思っています。

6月21日はお時間が許すようであれば、アルカスSASEBOへ足をお運びいただければと思います。よろしくお願いします。

【中村委員】

訪問型は予算の範囲内ということですが、何回実施される予定でしょうか。

【陣内教育長】

中学校が全部できるくらいです。

【古賀委員】

学校では、特定の学年だけではなく、全校生徒に対しても講演されるのですか。

【木下学校教育課長】

学校の実態に合わせていただけます。

小学生でしたら、特定の学年だけではなく、1年生から6年生までに合ったお話もできますということで伺っております。

【陣内教育長】

学校の規模によっては全学年でもいいですし、例えば小規模校は近くの小中学校も一緒になどできますね。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

- - - 了 - - -